岩手県林業技術センター **研究成果速報** No.69　平成12年1月7日発行

間伐材の道路付属施設への活用（その２）

１　はじめに

間伐材を活用した道路付属施設では、これまでスノーポール、デリネーターが実用化された。

今回は、県林業関係課や地方振興局から要望のあったバリケード、工事標示板（立看板枠）、道路交通標識柱を試作した。

２　試作品の概要

(1) バリケード

工事の際などに立ち入りを規制するバリケードについて、運搬性や収納性等に配慮し、折りたたみ可能なものや丸棒により連結可能なものなどのいくつかのタイプを作製した（写真１、２）。

(2) 工事標示板（立看板枠）

丸棒を加工し、工事用立看板の枠を作製した。木材の質感を生かし、自然景観との調和を図るため茶色系の塗装を施した（写真３）。

写真１　バリケード（折りたたみ式）

写真２　バリケード（連結可能タイプ）

(3) 道路交通標識柱

道路交通標識の柱に丸棒を利用し、移動可能な臨時規制用（径61㎜、長2m）と一般道路用（径77～100㎜、長さ4～4.4m）の標識を作製した（写真４）。

３　成果の活用

これらの試作品をもとに県庁内の公共事業担当課の意見を参考にしながら、岩手県森林組合連合会で商品化し、カタログに掲載された。

これらの製品が広く活用されることにより、間伐材の利用をＰＲするとともに、環境に対する貢献も期待できる。

写真３　工事標示板（立看板枠）

写真４　道路交通標識柱（臨時規制用）

（担当　木材部　主任専門研究員　久慈　敏）

連絡先　028-3623 岩手県紫波郡矢巾町大字煙山第三地割字清水560－11　TEL 019-697-1536
岩手県林業技術センター　FAX 019-697-1410
ホームページアドレス　http://www.pref.iwate.jp/~hp1017/